

## 自己評価報告書

平成 23年 5月 13日現在

機関番号：24201

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2008～2011

課題番号：20760429

研究課題名（和文） 滋賀県における横向きツシを持つ伝統的町家の研究

研究課題名（英文） Study of the traditional town house having YOKOMUKI-TSUSI at the Shiga Prefecture

研究代表者

石川 慎治（ISHIKAWA SHINJI）

滋賀県立大学・人間文化学部・助教

研究者番号：50374971

研究分野：工学

科研費の分科・細目：建築学・建築史・意匠

キーワード：町家、ツシ、横向きツシ、滋賀県

## 1. 研究計画の概要

一般的な伝統的町家で、道に面した表側の部屋上部をツシとして使用していたが、滋賀県彦根市・近江八幡市にある町家の中には、表側から二筋目以降の部屋の上部をツシとして使用する例（以下、横向きツシと呼ぶ）が確認されている。この横向きツシは通常のツシとは異なり、トオリニワに面し、トオリニワとの境に仕切壁を持たず大きく開口している特徴を持っている。

そこで、本研究の目的は、滋賀県全域での横向きツシをもつ伝統的町家の把握と地域性、横向きツシの分類と横向きツシを含めた町家二階部分の形成過程の分析、横向きツシを持つ伝統的町家と農家の関係、を探ることにより、横向きツシを持つ伝統的町家について明らかにすることである。

この研究目的を達成するために、以下のような方法で研究を行うこととした。

（1）滋賀県内における横向きツシを持つ町家の把握：これまでの研究で明らかとなった町家の特徴を手がかりに、横向きツシを持つと思われる伝統的町家を、①文献調査、②アンケート調査、からリストアップする。

（2）横向きツシを持つ町家の調査・分析：滋賀県内を大きく四つのエリアに分け、（1）で抽出された町家について、①横向きツシの空間特性の抽出、②横向きツシを持つ町家の特徴の抽出、に関する調査を行う。

## 2. 研究の進捗状況

（1）滋賀県内における横向きツシを持つ町

家の把握：①文献調査では、これまで滋賀県内で実施された建造物・町並み調査報告書といった文献から抽出した伝統的町家ごとに構成要素（立地・建築年代・規模・平面・小屋組など）を整理した。また、②アンケート調査では、県内市町教育委員会へ調査を行う前にいくつかの教育委員会に事前に横向きツシを持つ町家についての情報を問い合わせたが思うような結果が得られないことが予測されたため、各市町にある博物館・資料館・公開町家などへ直接出向いて情報収集することにした。このような2つの調査結果より、伝統的町家270棟の中から横向きツシを持つと思われる町家を38棟ほど抽出することができた。また、本研究とは別の調査（伝建調査等）においても2棟ほど横向きツシを持つと思われる町家を追加することができ、合計40棟となった。これらを見ると、彦根市、近江八幡市、長浜市、木之本町などの主に湖東・湖北地域の街道沿いに多く分布している、という傾向が見受けられた。

（2）横向きツシを持つ町家の調査・分析：①横向きツシの空間特性の抽出については、すでに取り壊されていたり、町家所有者の調査協力が得られない事例があり当初の予定よりは進んでいないが、これまでに14棟の調査・分析が終了している（調査不可の町家を含めず）。現在のところ、横向きツシの形態には大きく、コの字型と一直線型の2種類があり、相互の関係性について考察中である。②横向きツシを持つ町家の特徴の抽出については、近隣の旧城下の町家や近隣農村部の民家の特徴を文献などにおいて整理し、横向きツシを持つ町家との比較分析を試みている段階であり、今までのところ、小屋組

が二重梁を持つ町家が目立つという傾向が見受けられた。

### 3. 現在までの達成度

#### ③やや遅れている。

(理由)

横向きツシを持つ町家の調査・分析における2(2)①「横向きツシの空間特性の抽出」において、すでに取り壊されていたり、町家所有者の調査協力が得られない事例があるために、思うように作業が進んでいない。

### 4. 今後の研究の推進方策

未調査の町家(特に湖北・湖東地域)を早急に調査・分析し、考察を行う。

### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計1件)

- ① 張玲・濱崎一志・石川慎治、滋賀県湖東地域の町家における横向きツシについてその2 旧村岸家のツシ二階の空間構成、日本建築学会学術講演梗概集、F-2、pp. 513-514、2009、査読無。

[学会発表] (計1件)

- ① 張玲・濱崎一志・石川慎治、滋賀県湖東地域の町家における横向きツシについてその2 旧村岸家のツシ二階の空間構成、日本建築学会大会、2009年8月29日、東北学院大学。